

第 1 3 回委員会会議結果概要（案）

	会 議 結 果 要 旨
第 13 回 会 議	<p>○護岸検討委員会設置要綱の一部改正・委員紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知事の指名により、遠藤委員が委員長を務めることとなった。 ・遠藤委員長の指名により、副委員長は昨年度に引き続き倉阪委員が務めることとなった。 <p>○第 1 2 回委員会会議結果関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質疑なし。 <p>○平成 1 9 年度委員会の開催予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会・勉強会の開催日程及び検討項目について説明 <p>○第 1 回勉強会の開催結果概要関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質疑なし <p>○春季モニタリング調査の結果概要関連</p> <p>[主な意見及び対応]</p> <p><及川委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧断面の直立護岸だと三角波が立っていたが、緩傾斜断面で施工した部分は解消された。 <p><榊山委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海底地形は、面的に捉える必要がある。全体のデータをみたい。 <p><後藤委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・濡筋の移動を確認するため、勉強会などで 2 0 mピッチの測量データを提示してほしい。 <p><清野委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節を考慮した生物調査も必要である。市川海岸の生物暦みたいなものがあるとよい。 <p><後藤委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような感じの生物相になるのか知りたい。 <p><遠藤委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質調査のデータを加えてほしい。 <p>○モニタリング調査結果の検証手法(景観・親水性)関連</p> <p>[主な意見及び対応]</p> <p><宮脇委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接する 3 丁目の状況がどうなるのか、情報がほしい。 <p>→今後検討される区間である旨、事務局回答</p>

会議結果要旨	
第13回会議	<p><三橋委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインは考慮しているのか。 →考慮していない旨、事務局回答 <p><竹川委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート配布時に三番瀬関係のリーフレットを同封してほしい。 <p><後藤委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリエーションの方向性をよく議論すべきである。勉強会などでよく検討してほしい。 ※宮脇委員他、複数の委員からアンケート内容についての修正意見があった。 アンケート内容については、勉強会などで再検討・調整し、7月下旬に予定されている次回第14回委員会時に提示する。 <p>○護岸改修工事の実施状況関連</p> <p>[主な意見及び対応]</p> <p><倉阪委員・遠藤委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで改修工事を実施した部分の、護岸の沈下の状況はどうなっているのか。 →現在は、既設護岸の前面だけの工事なので目立った沈下はしていない旨、事務局回答 <p>○新基本断面ほか試行案の提案関連</p> <p>[主な意見及び対応]</p> <p><及川委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乱積みの試行案は、早い段階で実施しておいた方が観察スパンが長くなるのでいいと思う。 <p><榊山委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(地形変化の把握について) 時間のスケールと空間のスケールが一致していない。 <p><後藤委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地形測量は、年2回だけではなく、イベント(台風等)毎の測定も必要である。頻度を多くすべきである。 <p><清野委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・局所の地盤の話だけではなく、全体のエリアをどのような形で安全にしているかということが必要だと思うので、(背後地の)地盤に係る資料を提示してほしい。 <p>○傍聴者からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツバサゴカイの棲管の密度の単位は、本/m²から本/0.25 m²へ修正してほしい。(調査は50 cm×50 cmの範囲で行っている。)